

## 2月9日は風の日！



2月9日は、『風の日』、「ふ（2）く（9）」と「吹く」の語呂合わせによって制定されました。語呂合わせだけでなく、これからは春の嵐に注意しなければいけません。

台風でもない限り、風に注意を払うドライバーは少ないかもしれませんが、油断していると重大な事故に巻き込まれる可能性があるため注意しましょう。

風は雨と違い、目視出来ないため運転中も危険性を甘く見てしまいがちですが、強風によって車のコントロールが効かず、事故をおこしてしまうこともあります。



### ◎ 風の強さと車の運転への影響

平均風速 (m/s)	予報用語	車の運転への影響
10～15	やや強い風	高速道路を走行している際、横に流されるような感覚を受ける
15～20	強い風	高速道路走行中、横に流される感覚がより顕著になる
20～30	非常に強い風	通常速度での運転が困難になる
30～	猛烈な風	走行中の大型車両が横転する

運転が危ないと思うのは、平均風速が 20m/s 以上になった場合とされています。そんな風は、めったに吹きませんが、立春（2月3日）から春分（3月20日）の間に吹く「春一番」や「春の嵐」には注意してくださいね。

運転中、スピードが出ていれば出ているほど強風の影響が大きくなります。遠心力によって車線をはみ出す可能性があります。



### ◎ 事前にできる強風対策

気象情報をチェック。天気や気温、そして、風の強さもチェックしましょう。



### ◎ 運転中の強風対策

普段よりもスピードを落として運転しましょう。

特にトンネルの出口など、強風の影響でハンドルを取られないよう両手をしっかりハンドルに置いて、いつでも減速できる準備をしましょう。

ハンドルを取られた時に慌てて急ブレーキをかけてしまうのは危険です。減速するときは、徐々にスピードを落とすようにしましょう。

とにかく強風の時は、スピードを控えめに！

危ないと思った時は、しっかり減速！

それでも危ないと思った時は、無理をせず安全な場所へ避難しましょう。

